

第 87 期中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

証券コード 6246

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

CONTENTS

Top Message	1
事業の概況	3
事業紹介	5
業績の概況	8
株式の状況	9
会社概要	10

株式会社 **テクノスマート**

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社第87期（2020年4月1日から2020年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間における経済環境は、新型コロナウイルスの感染拡大や、米中貿易摩擦の長期化などにより、世界的に消費や投資が大きく落ち込みました。一方、東アジア等では新型コロナウイルスの感染状況に落ちつきが見られることから、欧米に先駆け、経済活動再開に向けた動きが見られましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大と長期化への懸念から、依然として先行きの不透明感が高く、日本経済にも大きな影響が出ております。

このような状況において、当社では、大きな成長が見込まれる電気自動車用リチウムイオン二次電池の電極用や、セパレータ用及び燃料電池用塗工乾燥装置、液晶テレビやスマートフォン・タブレット端末用の光学フィルムやタッチパネル用塗工乾燥装置及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。

昨年同期と比較すると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響に伴う経済活動の停滞の影響を受け、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利

益のいずれも大幅に減少いたしました。

現在の当社の主要なマーケットである東アジア地域（中国、韓国、台湾）においては、新型コロナウイルスの感染状況に落ちつきが見られることから、企業の経済活動も徐々に回復傾向にあります。こうした中、これまでコロナ禍で延期とされていた案件が正式受注となるなど、少し動きが出てきているように見受けられます。今後も光学フィルム関連設備と合わせて、二次電池及び燃料電池などのエネルギー関連業界に対し、更なる販売強化に取り組んでまいります。

また、当社は2020年9月に、独Dürrグループ傘下のDürr Systems AG社との間で、欧米における電気自動車用リチウムイオン二次電池用電極塗工ラインの製造・販売に関する業務提携契約を締結いたしました。今後、欧米で需要が増大すると見込まれる電気自動車用リチウムイオン二次電池用電極塗工ラインの製造・販売に向け、注力していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長

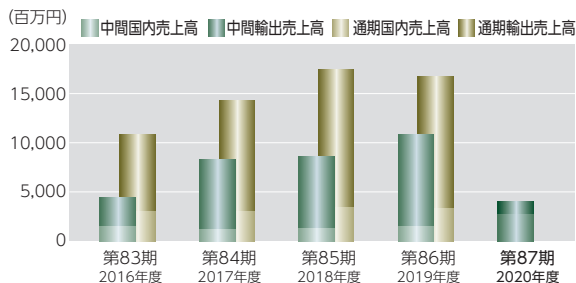
柳井 正巳



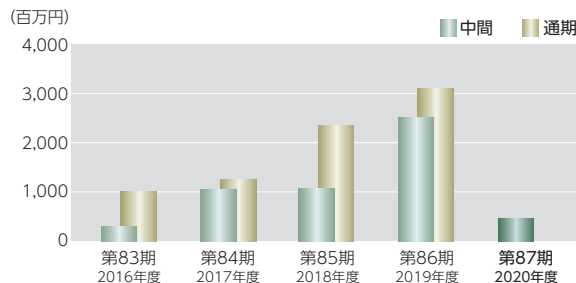
5年間の推移

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により受注、売上が減少

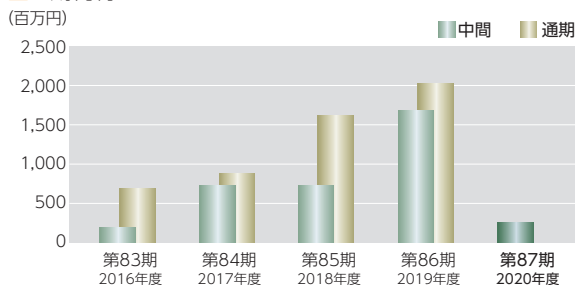
国内売上高・輸出売上高



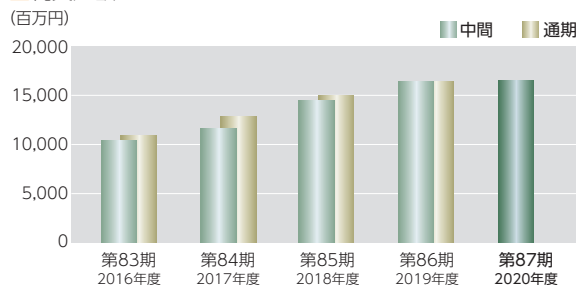
営業利益



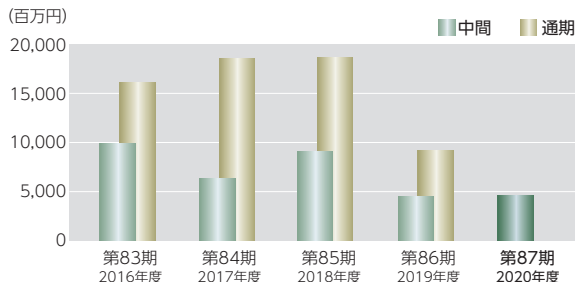
当期純利益



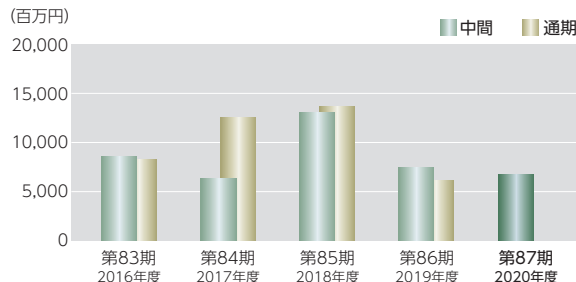
純資産額



受注高



受注残高



2021年3月期 業績予想

売上高 **7,400**百万円

営業利益

350百万円

当期純利益

200百万円

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

〔経営理念〕

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様への発展と地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

経営理念

環境理念

独自理念

〔環境理念〕

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

〔独自理念〕

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

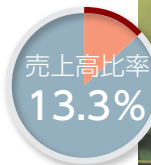
当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

ディスプレイ部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。



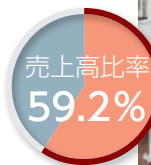
エネルギー関連機器

二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。



機能性紙・フィルム関連塗工機器

一般産業資材用の紙・フィルム用塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。



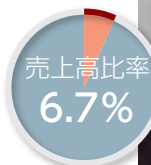
化工機器

高性能性繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンジニアリング用製膜関連製造装置。



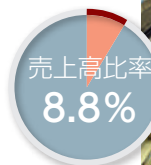
電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。



その他

各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。



「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適用。

CEDコーター

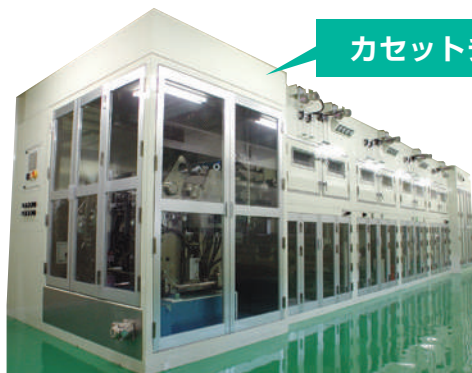


高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。

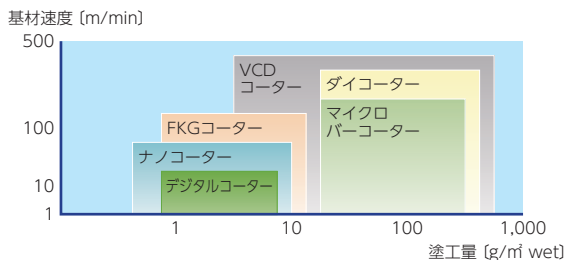
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ



研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

二次電池のご紹介

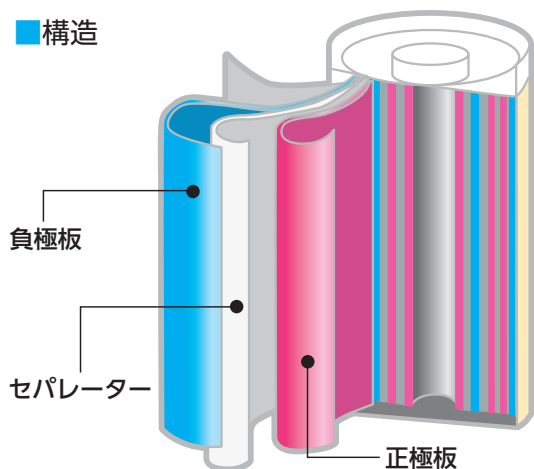
リチウムイオン二次電池の製造には、当社の装置が使用されています。

【用途例】

- ・携帯電話、スマートフォン、タブレット端末
- ・ノートパソコン、デジタルカメラ
- ・電気自動車、ハイブリッドカー 等

二次電池は、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

■構造



リチウムイオンバッテリー



円筒型の二次電池を一例としてご紹介していますが、使用用途に応じて角形、ラミネート型の二次電池もあります。

■主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

二次電池

▼使用箇所

- 正極板
- 負極板
- セパレーター



©scorp images - Fotolia.com

タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

カバーガラス

ITO層

IMフィルム

ITO層

IMフィルム

偏光板

カラーフィルター基板

配向膜

液晶層

配向膜

アレイ基板

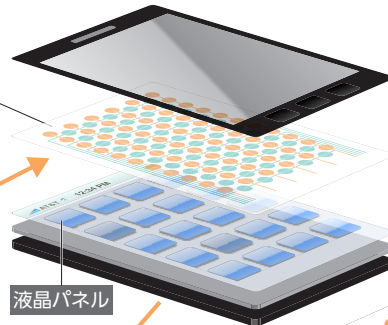
偏光板

指先が触れた時に電極の変化をX軸・Y軸の電極列から知ることによって位置を把握できます。

ITO層
(Y軸方向)

絶縁体

ITO層
(X軸方向)



液晶パネル

断面図

電気容量の
変化検知

絶縁体

タッチ位置の
検知イメージ

ITO層

電気を通す透明な薄膜。真空中で金属を高温加熱し、蒸着により、電気を通す膜をつくる。

**ハードコートフィルム
(表面保護)**

繰り返し使用しても傷が入りにくく、透明度が高く表面を保護している。

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM（インデックスマッチング）フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板（偏光フィルム）
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- ITO層ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- IMフィルム
ITOパターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

タブレット端末



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム

スマートフォン



▼使用箇所

- ハードコートフィルム
- 偏光フィルム
- 反射防止フィルム
- フレキシブルプリント基板

業績の概況

貸借対照表 (2020年9月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	15,419,647	流動負債	3,006,490
現金及び預金	10,372,098	買掛金	360,433
受取手形及び売掛金	4,221,432	電子記録債務	1,805,607
電子記録債権	488,163	短期借入金	31,582
たな卸資産	216,146	未払法人税等	248,197
その他	139,821	前受金	341,592
貸倒引当金	△ 18,015	引当金	89,716
		その他	129,359
固定資産	5,343,869	固定負債	1,289,265
有形固定資産	3,628,765	退職給付引当金	799,705
建物	1,233,088	資産除去債務	6,439
機械及び装置	117,338	その他	483,121
土地	2,014,351	負債合計	4,295,756
その他	263,987	純資産の部	
無形固定資産	8,038	株主資本	14,870,571
投資その他の資産	1,707,065	資本金	1,953,930
投資有価証券	1,369,725	資本剰余金	1,683,457
その他	339,639	利益剰余金	11,236,451
貸倒引当金	△ 2,300	自己株式	△ 3,267
		評価・換算差額等	1,597,189
		その他有価証券評価差額金	500,796
		繰延ヘッジ損益	△ 5
		土地再評価差額金	1,096,398
		純資産合計	16,467,761
資産合計	20,763,517	負債・純資産合計	20,763,517

損益計算書 (2020年4月1日から2020年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	構成比 (%)	前 期		当 期	
			金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
売上高	10,809,864	100.0	4,002,268	100.0		
売上原価	7,800,526	72.2	3,302,669	82.5		
売上総利益	3,009,337	27.8	699,599	17.5		
販売費及び一般管理費	488,073	4.5	237,546	5.9		
営業利益	2,521,264	23.3	462,052	11.5		
営業外収益	27,161	0.3	29,283	0.7		
営業外費用	4,001	0.0	2,286	0.1		
経常利益	2,544,424	23.5	489,048	12.2		
特別利益	0	—	7,690	0.2		
特別損失	56,231	0.5	8,981	0.2		
税引前四半期純利益	2,488,192	23.0	487,757	12.2		
法人税等	801,690	7.4	231,388	5.8		
四半期純利益	1,686,501	15.6	256,369	6.4		

キャッシュ・フロー計算書

(2020年4月1日から2020年9月30日まで)

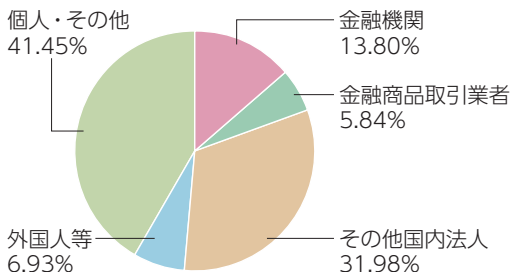
(単位：千円)

科 目	金 額	
	前 期	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,440,576	4,643,622
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 445,214	△ 14,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 370,273	△ 445,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額	4,625,087	4,183,588
現金及び現金同等物の期首残高	5,976,971	6,088,510
現金及び現金同等物の期末残高	10,602,058	10,272,098

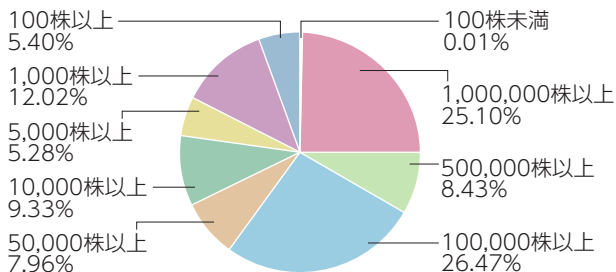
株式の状況 (2020年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	25,000,000株
■ 発行済株式の総数	12,401,720株
■ 株主数	3,985名

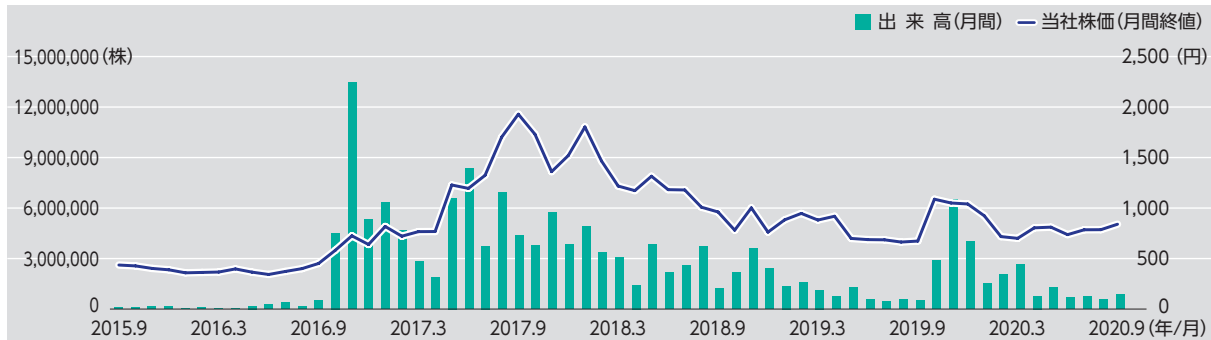
■所有者別株式分布



■所有数別株式分布



■当社株価と出来高



会社概要 (2020年9月30日現在)

社名 株式会社テクノスマート
創業 1912年6月15日
資本金 19億5,393万円
本社所在地 〒541-0056
大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号
久太郎町恒和ビル2階
電話 06-6253-7200 (代)
従業員数 242名
上場取引所 東京証券取引所 第2部
証券コード 6246
事業所 東京支店 (東京都中央区)
滋賀工場 (滋賀県野洲市)



トピックス

■Dürr Systems AG社との業務提携について

当社は、2020年9月に、ドイツDürrグループ傘下のDürr Systems AG社との間で、欧米におけるリチウムイオン二次電池用電極コーティングラインの製造・販売に関する業務提携契約を締結いたしました。

これまで、国内及びアジア (特に中国) において、最新の高精度リチウムイオン二次電池用電極コーティングラインを多数納入してまいりましたが、欧米においては、ガソリン車からEV車にシフトする動きも鮮明となり、リチウムイオン二次電池の需要は更に増大すると予想しています。

Dürrグループは塗装、組み立てラインなど自動車分野において世界的に強い営業基盤を有しており、また、Dürr Systems AG社の保有するコーティング事業と溶剤回収システムを当社の最先端の電極コーティング技術と組み合わせることで、パッケージのソリューションを提供できることとなります。

国内及びアジア (特に中国) における営業活動により一層注力するとともに、欧米地域へも積極的に営業展開を図り、当社事業の一層の発展に邁進してまいります。

■役員 (2020年10月1日現在)

代表取締役社長 柳井正巳
常務取締役 飯田陽弘
取締役 山田靖
取締役 下村壽一
取締役 榎本一郎
取締役 (監査等委員) 矢井田修
取締役 (監査等委員) 波多江嘉度
取締役 (監査等委員) 青木透

■株主・投資家情報サイト

<http://www.technosmart.co.jp/investor>

■トップページ



click



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行う
公告掲載アドレス：<http://www.technosmart.co.jp/>
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(郵便物送付先/各種お問合せ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
[受付時間 9：00～17：00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)]
ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart
Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。